

資料 1

議題 1 企業・医療機関・行政連絡調整会議設置規約の一部改正について

企業・医療機関・行政連絡調整会議において、労働災害における救急搬送時間等の課題案件があることから、課題解決方策の検討や連携した取組の円滑な実施を図るため、下記のとおり連絡調整会議の参加機関に鹿島地方事務組合消防本部を加えるようとするものです。

企業・医療機関・行政連絡調整会議設置規約の一部を次のように改正する。

別表第 1 及び別表第 2 を次のように改める。

別表第 1（第 3 条関係）

区分	参加機関	委 員	摘要
企業	鹿島東部コンビナート（幹事会社）	工場長	
	鹿島東部コンビナート（次期幹事会社）	工場長	
	鹿島臨海工業地帯西部地区企業連絡会（幹事会社）	工場長	
	鹿島臨海工業地帯西部地区企業連絡会（次期幹事会社）	工場長	
	波崎地区企業連絡会（幹事会社）	工場長	
	波崎地区企業連絡会（次期幹事会社）	工場長	
医療機関	鹿島医師会	神栖支部長	
	社会福祉法人恩賜財団済生会 神栖済生会病院	病院長	
	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	病院長	
	東部地区健康管理クリニック	院長	
	神栖産業医トレーニングセンター	統括指導医	
行政	潮来保健所	所長	
	鹿島地方事務組合消防本部	消防長	
	神栖市役所	市長	

※企業の参加機関については、上記に関わらず各地区の合意により選出された機関とすることができるものとする。

別表第2（第6条関係）

参加機関	幹 事	摘要
鹿島東部コンビナート（幹事会社）	・ 事務部長 ・ 総務部長 ・ 渉外責任者など	
鹿島東部コンビナート（次期幹事会社）		
鹿島臨海工業地帯西部地区企業連絡会（幹事会社）		
鹿島臨海工業地帯西部地区企業連絡会（次期幹事会社）		
波崎地区企業連絡会（幹事会社）		
波崎地区企業連絡会（次期幹事会社）		
社会福祉法人恩賜財団済生会 神栖済生会病院	事務部長	
社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	事務部長	
神栖産業医トレーニングセンター	統括指導医	
潮来保健所	地域保健推進室長	
鹿島地方事務組合消防本部	救急救助課長	
神栖市役所	医療対策監	
神栖市役所	地域医療推進課長	

※企業の参加機関については、上記に関わらず各地区の合意により選出された機関とすることができるものとする。

付 則

この規約は、令和5年10月16日から施行する。



第2回企業・医療機関・行政連絡調整会議資料

令和5年10月16日（月）18時から
鹿島セントラルホテル2階鳳凰の間



目 次

議題 2 第 1 回連絡調整会議後の市内医療情勢と企業要望等への取組状況について・・・ 3

- (1) データから見る市の医療情勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) 第 3 次神栖市総合計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
- (3) 2 病院の再編統合について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3
- (4) 白十字総合病院の回復期・慢性期病棟建て替えについて・・・・・・・・ 1 4
- (5) 鹿嶋ハートクリニックの病院化について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5
- (6) 県による医師派遣調整の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
- (7) 第 1 回連絡調整会議後の課題案件の取組状況について・・・・・・・・ 1 7
- (8) 看護職の確保について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3

議題 3 労災救急患者の受入強化のための熱傷・薬傷症例検討会について・・・・・・・・ 2 5

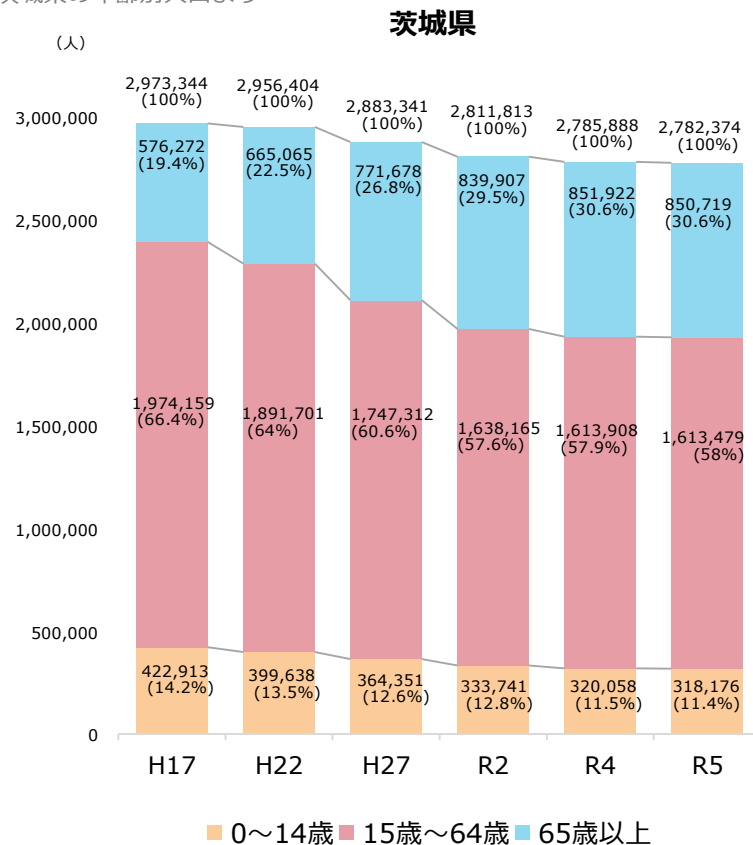
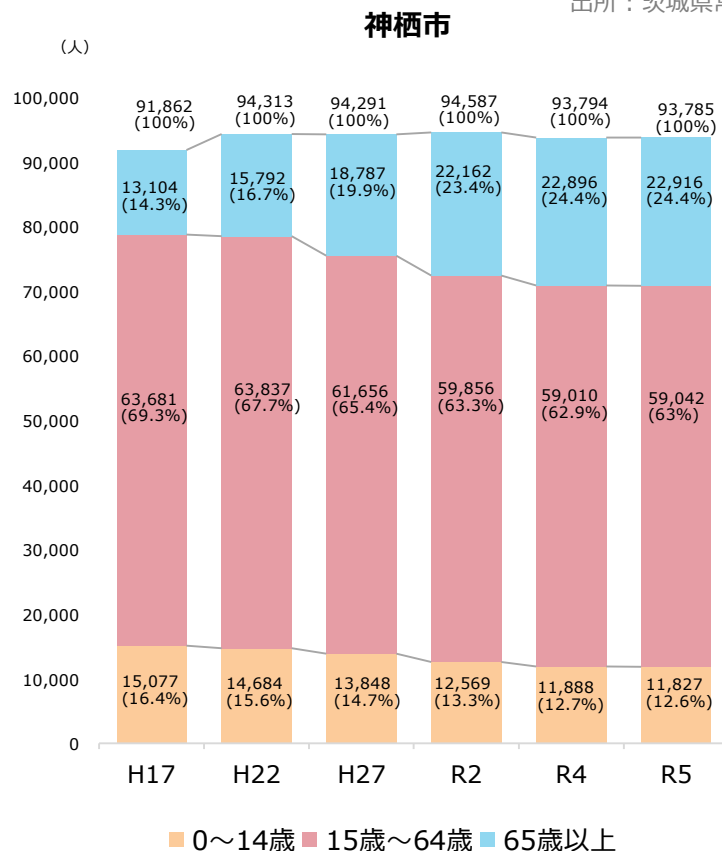
議題 4 産業医体制の充実について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 8

議題 2 第 1 回連絡調整会議後の市内医療情勢と企業要望等への 取組状況について

(1) データから見る市の医療情勢

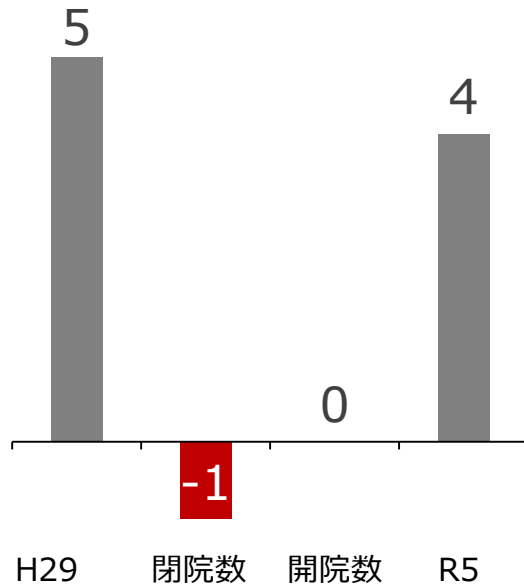
年齢3区分人口

出所：茨城県常住人口調査 茨城県の年齢別人口より



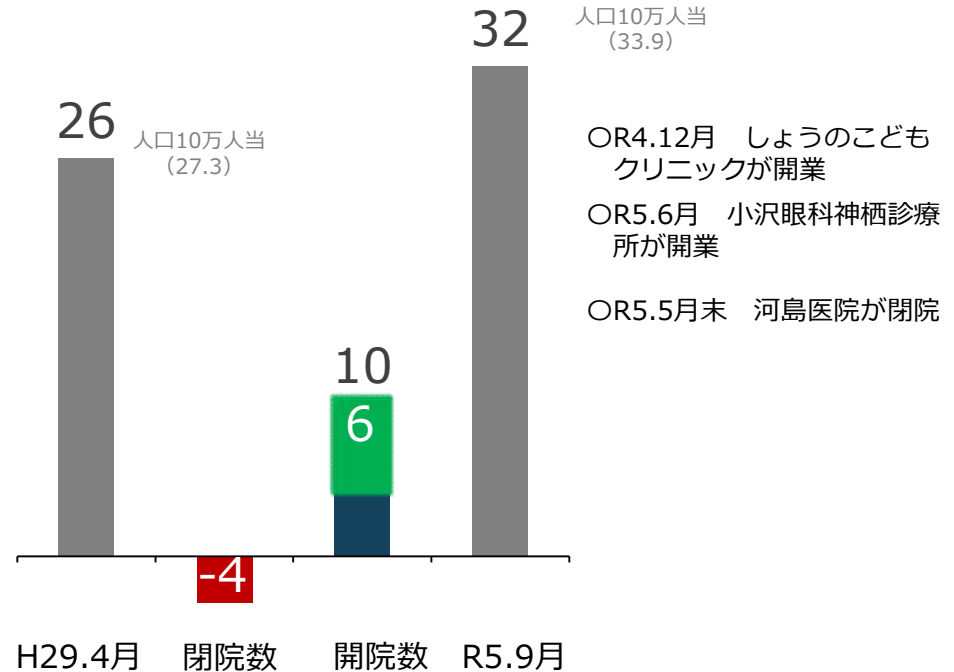
病院・診療所数の推移

病院数



診療所数

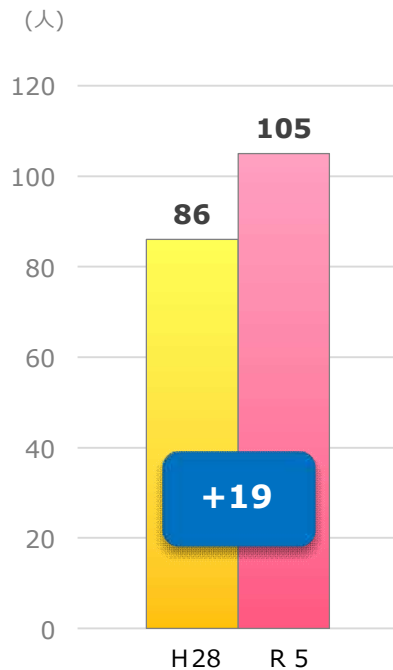
(単位：施設)



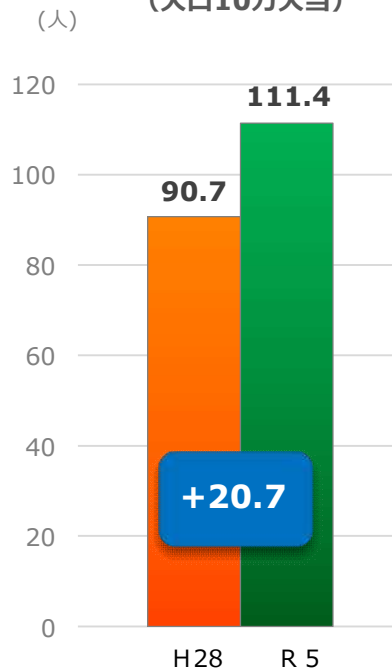
■：診療所開業支援制度（R元年～）を活用した数

市内常勤医師数の推移

市内医療施設に從事する
常勤医師数



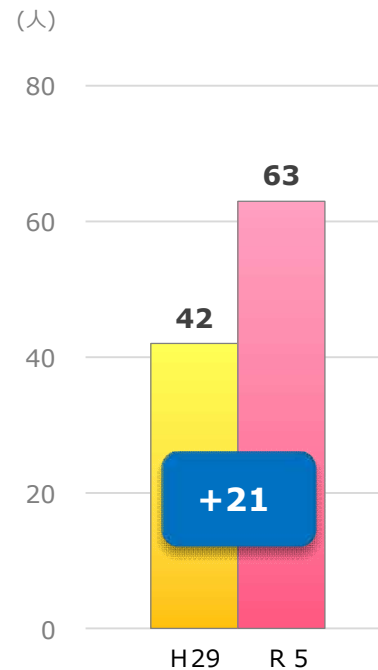
市内医療施設に從事する
常勤医師数
(人口10万人当)



参考：R2三師統計

国	256.6人
県	193.8人

市内研修医療機関※1
常勤医師数



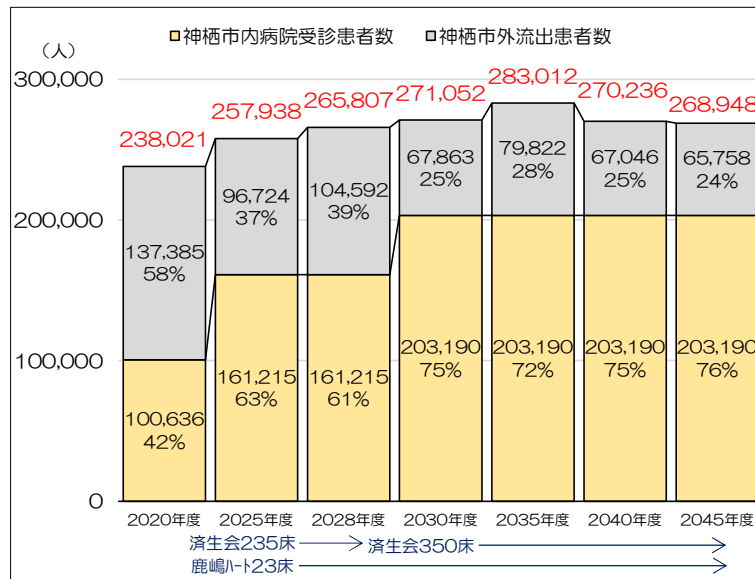
H28：平成28年茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査 第5表（茨城県）
R5：コード内容別医療機関一覧（関東信越厚生局 R5.9.1）

※1：白十字総合病院、神栖済生会病院、
鹿嶋ハートクリニック

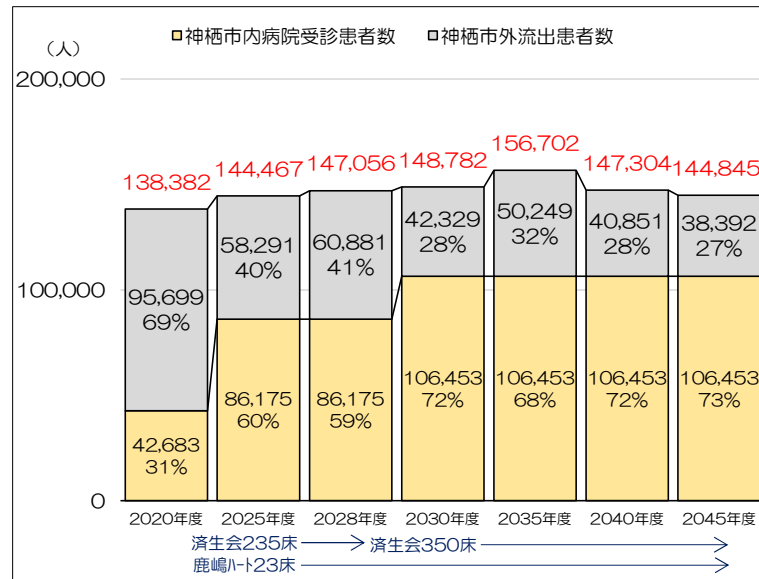
神栖市延入院患者数推計

全 疾 病

総 数

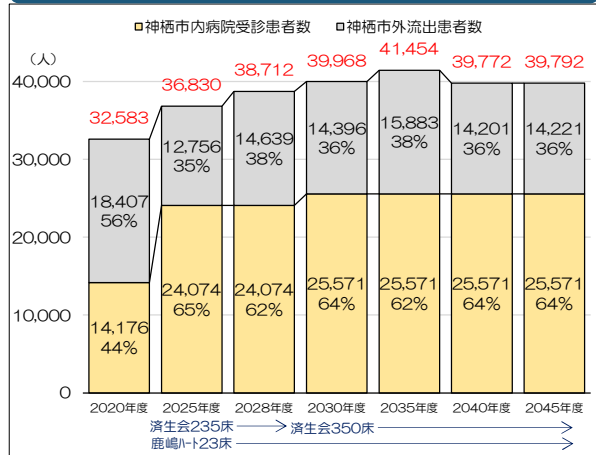


高度急性期・急性期

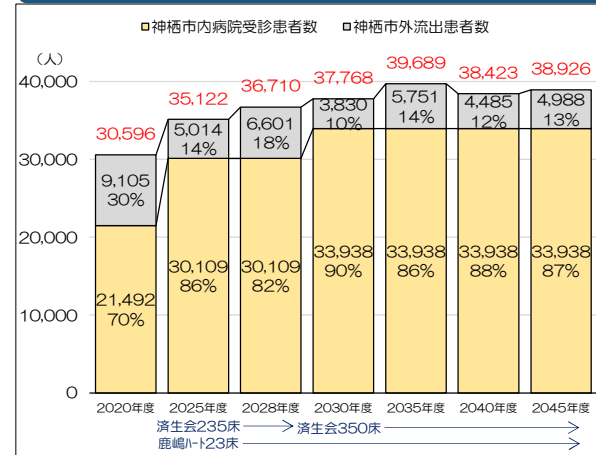


※端数処理により合計値は一致しない場合あり

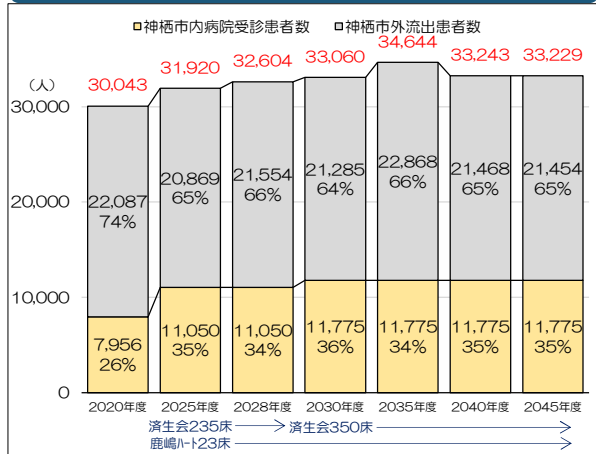
脳疾患



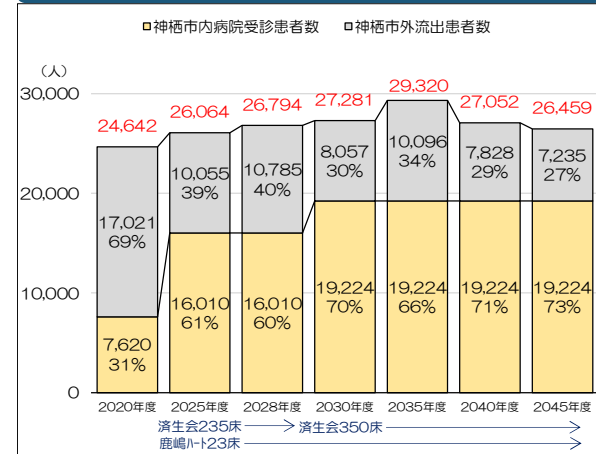
循環器脳疾患除く



整形外科系疾患



がん

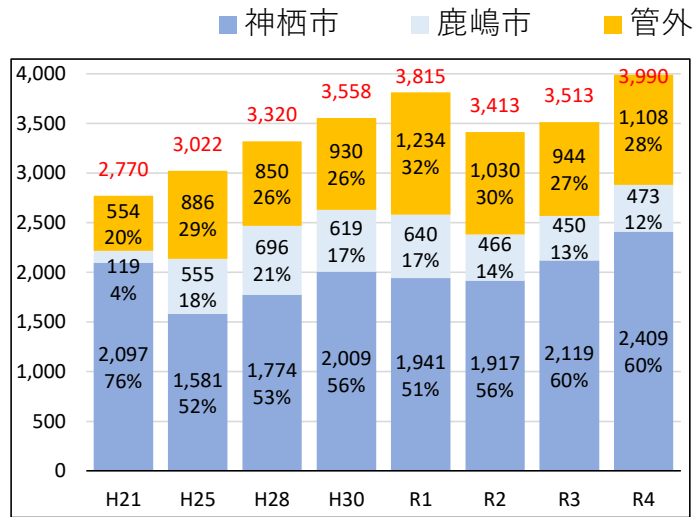


※端数処理により
合計値は一致し
ない場合あり

神栖市発生救急搬送

全 体

救急搬送患者数（単位：人）



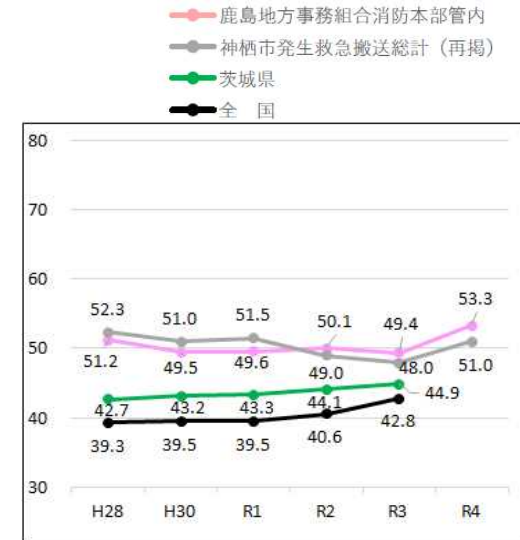
※神栖市内で発生した搬送事案の人数・時間

病院收容平均所要時間（単位：分）



鹿島地方事務組合消防本部管内

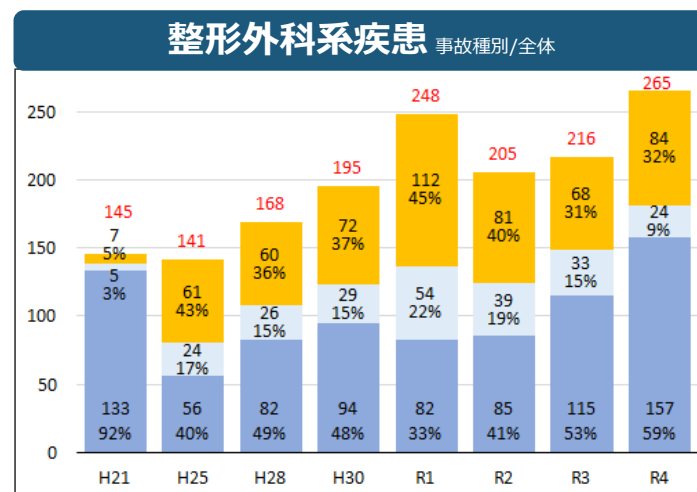
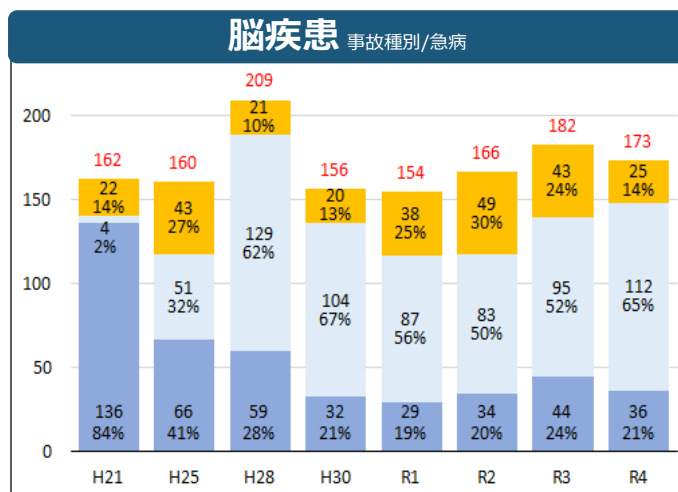
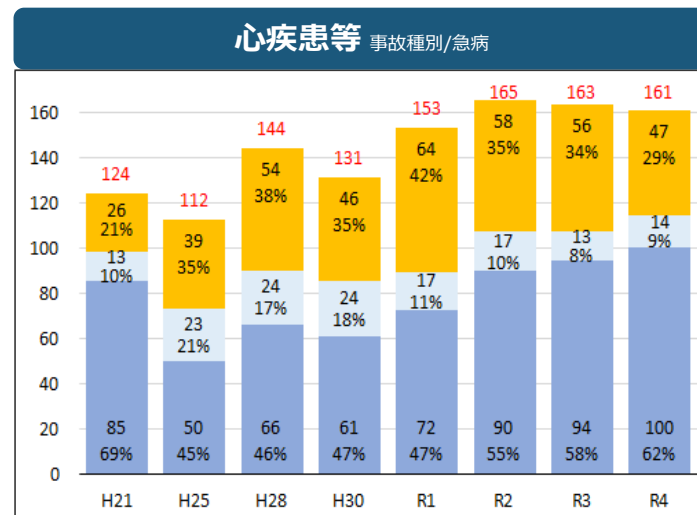
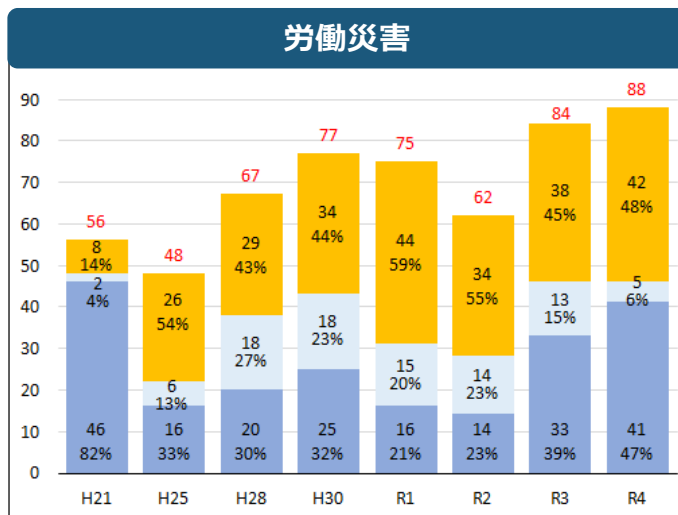
病院收容平均所要時間比較（単位：分）



※鹿島消防本部（鹿嶋市・神栖市）管内で発生した搬送事案の時間

救急搬送患者数 (単位：人)

- 管外
- 鹿嶋市
- 神栖市



(2) 第3次神栖市総合計画について

- 令和5年度から令和8年度を計画期間とする第3次神栖市総合計画「魅力ある誇れる神栖市を目指して」がスタート
- 医療対策を重点プロジェクト①「防災・医療の安心プロジェクト」、分野別計画大綱1「医療・健康福祉」に位置づけ
- 「**みんなが創る！みんなを守る！かみすの医療**」を基本理念とし、多くの方々の賛同と参加を得ながら、地域医療体制検討委員会からの提言を踏まえ、市民・企業に寄り添う医療体制の確立を目指し、限られた資源の活用や市内外との連携の促進、実効性のある対策、きらっせプロジェクトによる人材育成と確保に努めます。

[将来像]

魅力ある誇れる神栖市を目指して

[理 念]

①市民本位

[市民とともに歩む]

- 市民にとって真に必要な「市民本位」の施策を一体的かつスピード感を持って進めていきます。

②協力と連携

[人々のつながり・結びつきを大切にする]

- 市民をはじめとする様々な人々のつながり・結びつきを大切に「協力と連携」のまちづくりを進めていきます。

③挑戦

[地域課題に果敢に挑む]

- 市民の日々の暮らしを支える基本的な環境が一層充実するよう、様々な地域課題の解決に向けて果敢に「挑戦」していきます。

[施策の大綱]

1 医療・健康福祉

- 11 地域医療体制の確立と医療人材の育成・確保をはかる
- 12 子どもを産み育てやすい環境を整える
- 13 健康でひとにやさしいまちを目指す

2 生活環境

- 21 安全・安心に暮らし続けることができるまちをつくる
- 22 豊かな自然と環境を守り・活かすまちをつくる

3 産業

- 31 新たな成長と雇用を生み出す基盤を整える
- 32 地域の強みを活かした産業・観光を育てる

4 都市基盤

- 41 拠点機能を強化し、まちの活力と魅力を高める
- 42 良好な居住環境を整える

5 教育・文化

- 51 充実した教育環境を整える
- 52 生涯にわたり学び続ける環境を整える

6 地域づくり

- 61 住民同士がつながりを深め、安心感のある地域コミュニティをつくる
- 62 多様な主体が力を発揮しやすい地域をつくる

7 自治体運営

- 71 効率的でより開かれた自治体運営を目指す

[施策と主な取組]

地域医療体制 の確立	① 急性期医療提供体制の強化 ② 救急医療提供体制の強化 ③ 小児・周産期医療提供体制の充実 ④ 回復期・慢性期機能の充実 ⑤ 外来医療・在宅医療提供体制の充実 ⑥ 医療機関不足・偏在緩和への対応 ⑦ DX等の進展に対応した医療体制づくり
医療人材の 育成・確保	① きらっせプロジェクト等の推進
連携促進による 全員参加の医療 体制づくり	① 連携促進による全員参加の医療体制づくり ② 市民・企業への対応、市民等の主体的参加や協力

(3) 2病院の再編統合について

- 神栖済生会病院と鹿島労災病院を再編統合し、地域の中核医療を担う新拠点病院を整備するもの。
- 県・市・済生会・労働者健康安全機構の4者による再編統合に係る基本合意書に基づき、市は平成30年から整備等に対して支援。
- 建設資材価格の高騰等による事業費の増等のため、令和4年8月以降、実施計画等の実施を見合わせているところ。



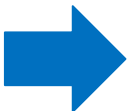
(4) 白十字総合病院の回復期・慢性期病棟建て替えについて

- 白十字総合病院では、急性期や産科診療を行いつつ、地域に根ざした回復期・慢性期病床を有するなど多機能な医療を提供。
- 同病院の回復期・慢性期病棟は老朽化が激しく、施設基準を満たしていないことから、暫定的に急性期の重症者用の病棟を利用せざるを得ず、現在20床が休床となっている。
- 入院患者の療養環境改善や休床となっている20床の供用再開のため、**回復期・慢性期病棟の建て替え工事を令和5年3月に着工。**
- 市では、令和4年度から建替整備に対して支援。

概 要

整備前

- ・3階建て（築40年）
一般病棟 74床
（うち20床休床）
- ・平屋建て（築53年）
療養病床 90床



整備後

- | | |
|------------------|-----|
| ・4階建て
一般病棟 | 34床 |
| 回復期・地域包括
ケア病床 | 40床 |
| 療養病床 | 90床 |

本館を合わせた304の全病床が活用可能となり、本来持っている医療機能の発揮による、**救急受入体制等の強化**が見込まれる。

(5) 鹿嶋ハートクリニックの病院化について

- 令和4年12月、鹿嶋ハートクリニックにおける特例病床としての一般病床4床の増床について、県の医療審議会の意見を踏まえ、厚生労働大臣の同意を得たところ。
- 鹿嶋ハートクリニックは鹿行保健医療圏で唯一循環器外科手術を担っており、病院化により、心疾患の救急搬送は現在の受入件数に加え年間200件、脳卒中は年間30件の受入可能件数の増が見込まれ、循環器疾患の受入体制の強化が期待される。
- 市では令和5年度以降、施設・体制整備に対して支援予定。

病院化の概要

循環器疾患に対する専門的治療や外科的治療ができる専門的医療を包括的に行う診療所

病院化

24時間365日対応可能な専門的救急医療を包括的に行うことを目的とした病院として整備。
HCU（高度治療室）4床の増床、手術室の増設により、救急・急性期機能の向上、循環器疾患の受入体制の強化が期待される。

参考：病床機能及び病床数

※R4.9月の現状と2025年(R7)の見込み

(単位：床)

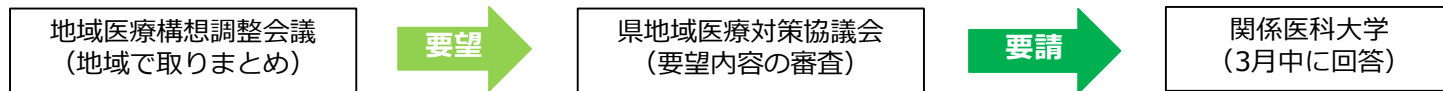
病床機能・病床数 医療機関名	高度急性期		急性期		軽症急性期		回復期		慢性期		休棟中等		廃止・削減等		病床以外への移行等		計	
	現状		現状		現状		現状		現状		現状		現状		現状		現状	
	現状	R7	現状	R7	現状	R7	現状	R7	現状	R7	現状	R7	現状	R7	現状	R7	現状	R7
1 白十字総合病院			154	174			40	40	90	90	20	0					304	304
2 神栖済生会病院	0	10	179	225													179	235
3 清仁会病院									118	118							118	118
4 渡辺病院									96	96							96	96
5 鹿嶋ハートクリニック	19	23															19	23
6 済生会土合クリニック					0	10					10	0					10	10
病 床 数	19	33	333	399	0	10	40	40	304	304	30	0	0	0	0	0	726	786

※令和4年度第3回鹿行保健医療圏における地域医療構想調整会議(R5.2.20開催)資料2抜粋

(6) 県による医師派遣調整の状況について

〇県の制度である地域医療対策協議会に対する医師派遣要望については、鹿行保健医療圏における地域医療構想調整会議において要望を合意形成したうえで、県に提出することとされた。

医師配置調整のスキーム



令和4年度医師派遣要望の結果

1 優先的に要請する要望（基準点以上の要望）

医療機関	診療科	要望数	結果
小山記念病院	消化器内科	2人	1人
神栖済生会病院	呼吸器内科	2人	0人

2 基準点未満の要望

医療機関	診療科	要望数	結果
小山記念病院	泌尿器科	1人	1人

令和5年度医師派遣要望（案）

1 優先的に要請する要望

医療機関	診療科	要望数
小山記念病院	脳神経外科	1人
	救急科	1人
神栖済生会病院	消化器内科	1人
白十字総合病院	呼吸器内科	1人

※令和5年度第1回鹿行保健医療圏における地域医療構想調整会議資料より（R5.6.26）

(7) 第1回連絡調整会議後の課題案件の取組状況について

	課題・提案・指摘等	取組状況
1	労働災害では、一般的な事故・怪我の救急搬送とは違って、 専門的・高度な治療 が求められる。	R5.2月の救急医療ワーキングチーム会議において、労働災害の発生状況と搬送先を確認し、 軽症であっても熱傷・薬傷系の患者が市外の医療機関に搬送されている ことを共有。そのため、症例検討会を実施して 治療法等を学び、受入体制の整備 につなげてはどうかとの提言がなされた。R5.5月の若手医師きらっせプロジェクト分科会において症例検討会の開催について協議検討。産業都市ならではの研修メニューとして、今後は 毎年度、「熱傷・薬傷症例検討会」を開催 していくことを目指す。（※詳細は「議題3」に記載）
2	企業からの意見を反映して労働災害の事例を分析し、 色々なケースに対応 できるよう備えるべき。	
3	労働災害において企業からの出勤要請に応じた際の 救急搬送時間、市内収容率の分析 が必要。	R5.2月の救急医療ワーキングチーム会議において、平成21年から令和3年までの市内で発生した救急搬送の推移を確認。 救急搬送時間は平成25年から令和3年まで短縮傾向 であり、医療機関や消防本部、行政の取組みの 一定の成果が見られる 。ただし、令和4年は新型コロナウイルス感染症の第7波、第8波により、受入先が見つからない救急搬送困難事案が多数あり、救急搬送時間が伸びたところ。 市内収容率は全体的に平成21年から低下 しており、 労働災害は顕著 。（9～10ページ） これを踏まえ、第3次神栖市総合計画では、「 市内医療機関の救急搬送収容率 」を 目標指標 として設定。市内収容率の向上を目指す。 ○現況値：60.5% → 目標値：70%（令和8年）
4	救急医療全般における 平均搬送時間の短縮 や 市内収容率の向上 には、 目標を設定 し対応することが大切。	
5	企業が求める診療科・医療分野 への対応。	令和5年5月23日に開催した、市内医療機関を対象とした「神栖市地域医療体制に係る意見交換会」において、企業からの意見を情報共有。また、 企業が求める診療科・医療分野の充実強化に係る医療機関の取組みについて、市は経費等を支援 。なお、企業が求める診療科・医療分野への医療機関等の主な取組状況については、19ページ～20ページのとおり。

(7) 第1回連絡調整会議後の課題案件の取組状況について

	課題・提案・指摘等	取組状況
6	かみすの医療にある「市民や企業の参加と貢献」において、在宅医療について企業としてどうあるべきか。	高齢化の進行により在宅医療の市民ニーズが高まる中、適切な医療提供体制の整備においては、ひとりひとりが在宅医療について考えることが大切です。企業各社におかれましては、市民への啓発に引き続き御協力をお願いします。
7	企業や市民に向けては 広報紙だけでの情報発信では不十分 。市内医療機関マップ・休日当番医表を企業の食堂等への貼り付けることや、SNSを活用した医療情報の提供などの 工夫した情報発信 が大切。	分かりやすい 医療機関マップの作成 や、市のエックス（旧ツイッター）やInstagramなどの SNSを活用した情報発信 などの対応を検討し取り組む。
8	医療人材の確保にあたっては、神栖の魅力発信の強化が大事	若手医師きらっせプロジェクト等による情報発信や、民間企業主催の合同就職説明会等において神栖市をPRするなど、魅力発信の更なる強化に努める。

パンフレットの作成・配布



合同就職説明会にて神栖市をPR (R5.6月)



企業が求める診療科に対する市内医療機関等の取組状況

診療科名	主な取組状況
心療内科・精神科	臨床心理士による相談体制の継続及び充実の取組を進めている。（白十字総合病院）
眼科	市の診療所開業資金貸付制度を利用し、令和5年6月に小沢眼科神栖診療所が開業。
耳鼻咽喉科	令和4年10月からすべての平日及び第1第2土曜日の診察を開始。（神栖済生会病院）
皮膚科	市内で発生した労働災害による熱傷・薬傷について、診療時間内であれば対応。 労災指定医療機関の認定については、認定済み。（皮フ科内科クリヤマクリニック）
産科・婦人科	常勤医師1名を中心に非常勤医師数名で診療を行っている。引き続き医師の充足を図るべく医師確保に努め、ハイリスク分娩等、地域の皆様の期待に応えられる体制づくりを行っていく。（白十字総合病院）
整形外科	副院長である常勤医師1名と、市・県と順天堂大学との寄附講座の開設に関する協定により派遣された常勤医2名の3名体制。外来診療・手術・救急対応に努め、応需件数が増加。（神栖済生会病院）
外科	令和5年4月より大学病院との連携により新たに非常勤医師1名を配置。（白十字総合病院）
内科	救急医療から症状の安定した方への回復期医療、長期での療養が必要な方への慢性期医療と、幅広い症状・疾患に対応。（白十字総合病院）
その他（歯科）	令和5年5月23日に開催の市内医療機関を対象とした意見交換会において、企業からの意見として情報共有。

企業が求める医療分野に対する市内医療機関等の取組状況

診療科名	主な取組状況
救急医療	昨年の救急車受入台数は2,406台であり、 平成30年と比較し約1,000台増加 。日中は日本医科大学千葉北総病院ドクターヘリ、夜間はラピッドカーを要請しつつ搬送するなど、消防本部の協力を得ながら体制づくりを推進。（神栖済生会病院）
労働災害への対応の充実	労働災害での受傷後等におけるリハビリテーションの充実に向け、 施設基準以上の理学療法士等の採用 を図る。（白十字総合病院）
通院に係る送迎バス等の実施	従前より無料送迎バスを運行。また病院内ロータリー内に、市コミュニティバスの停留所あり。（白十字総合病院）
夜間診療の実施	当直医師による救急対応となり、当直医の専門性により受け入れが難しいこともあるが、事例検証を行い、極力受け入れできるよう努める。（神栖済生会病院） 診療時間外は当直医師1名体制であるため、急患の重症度や他患者対応中などにより対応できない場合もあるが、可能な限り受け入れできるよう努める。（白十字総合病院）
診療所の誘致	市の診療所開業資金貸付制度を利用し、 令和4年12月に「しょうのこどもクリニック」、令和5年6月に「小沢眼科神栖診療所」 が開業。
在宅医療の充実	在宅患者の急変時に円滑な入院対応ができるよう、 病院と診療所間において在宅患者情報の共有を開始 。（白十字総合病院、かみす中央メディカルクリニック、にへいなかよしクリニック）
救急実施施設等情報公開サービスの実施	かみす健康ダイヤル24、茨城おとな救急電話相談等の困ったときの「緊急時サポートシステム」について、令和5年3月15日号の広報かみすに掲載。今後も広報紙、ホームページ等を活用し、サービスの周知に努める。
口腔外科の充実と情報共有	令和5年5月23日に開催の市内医療機関を対象とした意見交換会において、企業からの意見として情報共有。

市民の声について

項目	市民の声（一部抜粋・要約）
診療科について	皮膚科を誘致して欲しい。
	安心して出産できるよう、産婦人科専門の病院を誘致して欲しい。
	近くに婦人科が無く不便。また、婦人科があったとしても男性医師で抵抗があり、女性医師を望む。
	不妊・不育を扱う専門のクリニック等があれば良い。不妊治療が保険適用になり、神栖市でも助成金の制度があるが、市内に使える場所が無い。
	自分の周りに脳梗塞を患った人が多く、鹿島労災病院が無くなり、脳神経外科の体制が不安。
救急受入について	市内の救急指定病院に3度も救急受診を断られて非常に残念。もう少し医師、看護師の数を増やしてほしい。
	診療時間外に子どもが発熱し、医療機関に問い合わせたが、どこも対応が悪かった。子どもの急な発熱の際にはどのようにしたらよいか。
労働災害について	市外救急病院は遠い。鹿島労災病院はなぜ無くなったのか。工業地帯があるのになぜ市内に三次救急病院がないのか。
旧鹿島労災病院の活用について	なぜ労災病院を取り壊すのか。市の財政が悪化している中、既存の建物の活用が必要だと思う。
医療教育について	鹿行地域の医療提供体制がとても心配。この地域の医療を良くするためにも、現役の医療者に対する教育が必要と感じる。未来の医療従事者となる小中学生への医療教育では、患者や家族の心情を理解できるような教育をお願いしたい。

(参考) 鹿行医療圏の偏在解消に向けての県の見解

(茨城県議会 令和5年第2回定例会一般質問／予算特別委員会答弁から)

1. 一般質問 森川部長答弁（抜粋）

「地域枠修学生医師が鹿行医療圏は2名に留まっている。

これは、**鹿行医療圏には基幹型の臨床研修病院がなく、専門研修についても実施可能な医療機関や診療領域に限られる**ことが主な原因。

まずは各医療機関が、地域医療構想を踏まえ、**教育研修施設として目指す役割や機能を明確に**した上で、必要となる医師の確保や施設整備等に係る具体の計画を示すよう働きかけていく」

2. 予算特別委員会 森川部長答弁（抜粋）

「鹿行医療圏の人口10万人当たり医師数が県平均並みとなるためには295人、水戸医療圏並みとなるためには464人、つくば医療並みとなるためには843人を追加で確保しなければならない。

鹿行医療圏は、現在、**基幹型の臨床研修病院がないこと等の理由**から、2名の勤務に留まっている。

県としては、まずは各医療機関が、地域医療構想を踏まえ、**教育研修施設として目指す役割や機能を明確に**した上で、必要となる医師の確保や施設整備等に係る具体の計画を示すよう働きかけていく」

(8) 看護職の確保について

○市内医療機関において、医師のみならず**看護職も不足**している。

○令和5年度に看護師確保に係る分科会を発足し、看護師確保対策について市内医療機関と情報共有・協議を行っているところ。

○令和4年度から県ナースセンター、市内医療機関と協力し、**看護師の合同就職相談会**を開催しており、令和5年度は2回開催予定。

9月2日に開催した合同就職相談会では市内外から来場者があり、現役の看護師との直接相談や、復職者向けの技術研修を行った。
次回は令和6年2月に開催予定。

看護師合同就職相談会

1 日 時：令和5年9月2日(土) 午前10時～午後4時

2 場 所：かみす防災アリーナ 大会議室

3 対 象 者：看護職へ就業希望の方（新規・再就業・転職）

看護学生、大学や看護学校へ入学希望の方

4 参加施設：神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック

5 協 力：茨城県ナースセンター

<開催結果>

来場者 8名（市内5名、市外3名）

うち、技術研修（採血・輸液）参加者 4名

次回は令和6年2月に開催予定



合同就職相談会の様子



復職者向けの採血・輸液
技術研修の様子

看護師合同就職相談会アンケート結果

＜来場者＞

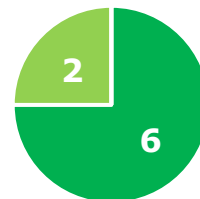
8名（神戸市5名、鹿嶋市3名）

看護師資格保有者	5名	准看護師資格保有者	1名
看護専門学校志望者	2名		

＜来場者の声＞

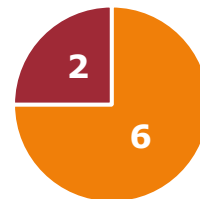
- ・卒業後の進学のことについてよく知ることができて良かった。
- ・准看護師としての就職を考えてもいたので、直接看護師から話を聞いたことは今後の計画が立てやすく、参考になった。
- ・必要としてもらえたことが自信につながった。
- ・他の施設や病院も色々と見学や検討をしてみたい。

＜満足度＞



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満

＜就職の検討先＞



■ 見つかった ■ 見つからなかった

企業のみなさまへご協力をお願い

従業員のご家族で看護師資格を保有されている方への、就業先としての市内医療機関の案内・周知のご協力を引き続きお願いいたします。

議題3 労災救急患者の受入強化のための熱傷・薬傷症例検討会について

- 第1回企業・医療機関・行政連絡調整会議での要請を受け、市内医療機関・消防・行政において労働災害の救急搬送先や受入体制について検証した結果、**軽症であっても市内で受入れてできていない事例が多数ある**ことを確認。
- 特に、熱傷・薬傷にあつては受入体制が弱いことから、**専門医でなくても軽症患者の受入やファーストタッチができるようになる**ことを目標に、神栖市若手医師きらっせプロジェクトの一環で「**熱傷・薬傷症例検討会**」を開催することとしたところ。
- 令和5年度は過去に神栖市から搬送した医療機関の専門医による治療の内容や転帰についての講義を行うほか、アンケートをもとに市内企業の熱傷・薬傷発生時の初動対応について情報共有を図るもの。

熱傷・薬傷症例検討会 開催概要

- 1 主催 神栖市若手医師きらっせプロジェクト（事務局 神栖市役所 地域医療推進課）
- 2 対象者 市内病院・診療所の医師や看護師等の医療従事者及び事務職、消防本部、市修学生、企業、市職員
- 3 開催方法 市施設で開催、オンライン参加も可 **※事前申込者は開催後にYouTubeで閲覧可**
- 4 研修計画

	第1回	第2回	第3回
内 容	熱傷・薬傷の総論（産業医 田中医師） 症例検討①（旭中央 東医師）	症例検討②（土浦協同 盛山医師） 症例検討③（千葉北総 原医師）	企業の初動対応（アンケートから） その他の労災救急（田中医師）
時 期 会 場	令和5年9月22日（金） 神栖市はさき保健・交流センター	令和5年11月16日（木） かみす防災アリーナ	令和6年1月25日（木） かみす防災アリーナ

※**皮フ科内科クリヤマクリニック**より、市内の労災救急の熱傷・薬傷について、診療時間内であれば救急搬送・ウォークインを問わず対応しますとの申し出あり。 労災指定医療機関認定済み。

住所：神栖市神栖1-17-1 ソレイユプラザ 電話：0299-91-1188

第1回 熱傷・薬傷症例検討会について

- 令和5年9月22日に第1回熱傷・薬傷症例検討会を開催。市内医療機関の医療関係者、企業、救急隊から176人が参加。
- 産業医の田中医師の講義では、市内で発生した労災救急の多くが市外へ搬送されている現状にふれ、地域で受入れが可能な軽症例やSDSの重要性が解説されました。
- 旭中央病院の東医師の講義では、実際の写真を交えて、熱傷の初期対応や注意点などが詳しく紹介されました。治療の前に、受傷の状況や部位などを患者から丁寧に聞き取ることが大切であるとの説明もありました。



会場36人、ウェブ140人が参加



神栖産業医トレーニングセンター 田中完 医師

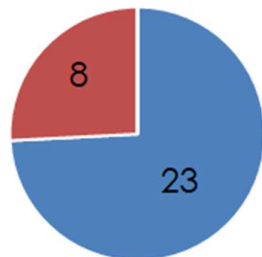


国保旭中央病院 東 修智 医師

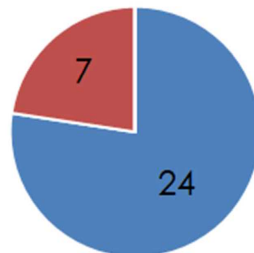
第1回 熱傷・薬傷症例検討会について

講義内容の満足度

＜講義①熱傷・薬傷の総論＞



＜講義②熱傷の初期対応と注意の必要な部位＞



■ 大変満足
■ 満足
■ 不満
■ 大変不満

＜参加者の声＞

- ・ 当地域の医療状況がひっ迫していることが数字で示され、将来に不安があると感じた。医療と産業は協力して地域を活性化する必要があることを痛感した。もっと労災を積極的に診ていく必要があると思う。
- ・ 救急隊として、写真やSDSの重要性を学ぶことができた。
- ・ 救急搬送受入時には、SDSシートを持ってきてもらう必要があると認識した。
- ・ 薬液の種類を把握し、状況を把握することで、慌てず処置ができるようにしたいと思った。
- ・ 実際の写真を見ることで、具体的な熱傷の重症度が分かりやすかった。応急処置・処置対応などが勉強になった。
- ・ 火傷では痛みの強さで程度の判断ができないことを知った。受傷後にケアや受診の促しも大切だということが分かった。受診後の経過や、処置の内容を知る貴重な機会となった。

○第2回の参加申し込みを受け付けています！

日 時：令和5年11月26日（木） 18時～20時

会 場：かみす防災アリーナ（ウェブ参加可） ・ ・ ・ 別添チラシをご確認ください

議題 4 産業医体制の充実について

産業医学基礎研修会の開催

○産業都市神栖の発信として、令和2年度から地元企業の皆様にご協力いただき、**産業医学基礎研修会**を実施。

(主催：茨城県医師会 主管：鹿島医師会 協力：神栖市若手医師きらっせプロジェクト)

○受講者から大変好評であり、令和4年度までの受講者は**延べ2,230人**(うちR4年度は906人)。他県からの受講者も多く、研修会受講をきっかけに神栖市への勤務に興味を持っていただいているところ。

○令和5年度は**18社**から**受入協力の申し出**をいただいているところ。

受入協力企業

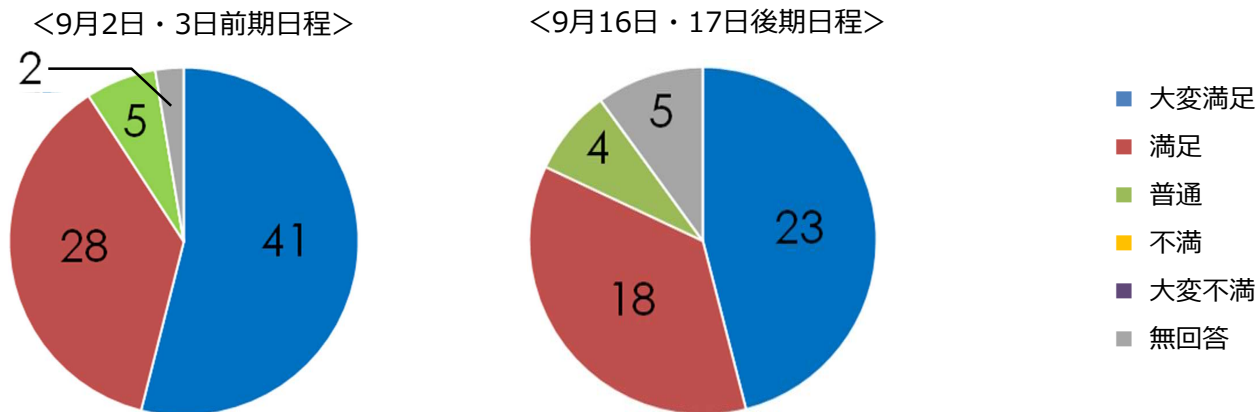
	協力企業	R 3	R 4	R 5		協力企業	R 3	R 4	R 5
東 部 コ ン ビ ナ ー ト	AGC				西 部 地 区	花王			
	鹿島石油					中国木材			
	信越化学工業					DIC			
	三菱ケミカル				波 崎 地 区	LSIメディエンス			
	ENEOSマテリアル					三洋化成工業			
	JERA					ダイキン工業			
	カネカ					ケイミュー			
	クラレ				そ の 他	鹿島埠頭			
	ライオンケミカル					消防本部			
	ユボ・コーポレーション				西部地区	3社			
東部コンビナート10社					波崎地区	4社			
					その他	2社			

令和5年度研修会日程（予定）

		受講者数		
		県外	県内	うち市内
前期研修	9月 2日（土） , 3日（日）	48	28	2
	11月 18日（土） , 19日（日）			
後期研修	令和5年			
	9月 16日（土） , 17日（日） 座学：鹿島地方事務組合消防本部	37	13	1
	10月 7日（土） , 8日（日） 座学：ライオンケミカル	35	12	0
	10月 14日（土） , 15日（日） 工場見学：カネカ、DIC、ダイキン工業			
	11月 11日（土） , 12日（日） 工場見学：ユポ・コーポレーション、三洋化成工業			
	12月 9日（土） , 10日（日） 座学：クラレ			
	令和6年			
	1月 20日（土） , 21日（日） 座学：ケイミュー、鹿島埠頭			
	2月 3日（土） , 4日（日） 工場見学：三菱ケミカル、花王			

産業医学基礎研修会アンケート結果

講義内容の満足度

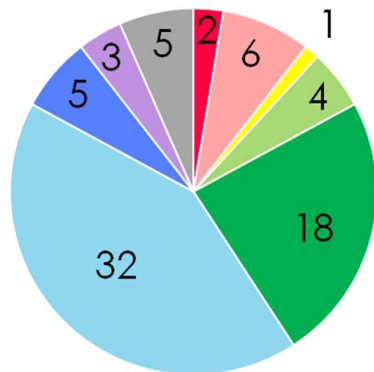


<意見・感想（抜粋）>

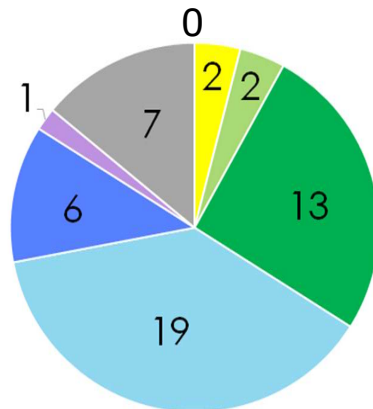
- ・まとめて単位取得できて助かりました。機会があればまた参加します。
- ・都内からのアクセスも良くありがたいです。
- ・大変内容の濃い2日間でした。また神栖での研修会に参加したいです。
- ・普段東京で臨床しているので、少し離れた神栖市での講習はリフレッシュになりました。
- ・茨城県出身です（石岡市）。きらっせプロジェクトは素晴らしいです。
- ・現在、つくば市内の病院で働いているため産業医の業務は難しいが、今後退職した際に前向きに考えたい。
- ・地域医療の話も伺え、空き時間にコンビナートをはじめ地域を巡ることができたことも良かったです。
- ・神栖市での就職先を紹介していただきたい。

神栖市への興味

<9月2日・3日前期日程>



<9月16日・17日後期日程>



- 興味を持ち、神栖市内での「常勤」勤務を前向きに考えたい
- 興味を持ち、神栖市内での「アルバイト」勤務を前向きに考えたい
- 興味を持ち、神栖市内での「専属産業医」勤務を前向きに考えたい
- 興味を持ち、神栖市内での「嘱託産業医」勤務を前向きに考えたい
- 興味があり、条件次第では神栖市内での勤務を前向きに考えたい
- 興味はあるが、神栖市内での勤務は考えていない
- 興味がない
- すでに神栖で勤務している
- 無回答

<「神栖市での勤務を前向きに考えたい」方の具体的な勤務構想（抜粋）>

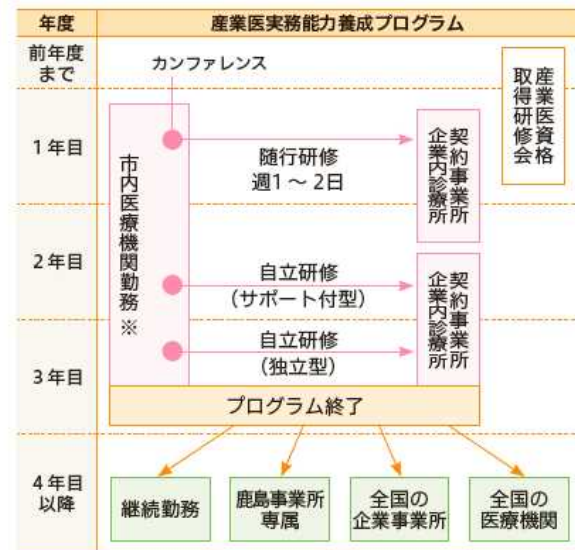
- ・産業医の拠点である神栖市で様々な経験をしてみたい。産業医第1社目の都市として適切だと考えている。
- ・産業医としての勤務に加え、救急・総合診療/リハビリテーション科としての臨床も、地域のニーズがあれば勤務したい。
- ・どこで働けるのか、クリニックは開業出来るのか、こちらで産業医として会社を紹介してもらえるのか等、教えてもらいたい。
- ・産業医や救急のバイトなどで、将来、スポットで何らかのお役に立てればと思っている。
- ・産業医トレーニングセンターに興味がある。
- ・週1～2日、嘱託産業医として勤務を前向きに考えている。
- ・内科一般、消化器（内視鏡）、健診の常勤・非常勤で仕事があれば、神栖市での勤務を前向きに考えたい。

産業医業務に関心のある医師の市内就業促進

- 令和4年度、白十字総合病院・神栖済生会病院の2つの病院内に、新たに「**神栖産業医トレーニングセンター**」が開設。
- 鹿島臨海工業地帯周辺の企業で働く人をサポートするとともに、産業医、社会医学系専門医の育成に取り組んでいるところ。
- 令和5年4月には**新たに6人の医師が赴任**し、産業医、社会医学系専攻医として従事しながら、配属先の医療機関での診療や当直業務等を担っているところ。
- 市内の総合病院等（研修医療機関）で勤務しながら、週1～2日、経験豊富な産業医のもとで産業医業務の実務研修を受け実践力を養成するコースもあり。

産業医トレーニングセンターの就労医師数

	令和4年4月	令和5年4月	令和8年 (第3次総合計画 における目標値)
就労医師数	3人	9人	15人
配属別内訳	白十字総合病院 2人 神栖済生会病院 1人	白十字総合病院 5人 神栖済生会病院 3人 東部地区健康 管理クリニック 1人	



※神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック

当地域の医療状況



救急医療体制を整えるには

・救急医療体制に必要な診療科

- 1) 整形外科 (災害、交通事故)
- 2) 循環器科／心臓血管外科 (3次救急)
- 3) 脳神経外科 (3次救急)

・一般時間外対応に必要な診療科

- 4) 内科 (総合診療科)
- 5) 外科 できれば内視鏡ができるとうい

・さらに追加でほしい診療科

- 6) 小児科
- 7) 産婦人科

救急医療体制を整えるには

一方で、神栖市には

- ・ 6 万人近い労働者の健康診断需要
- ・ 3 万人の住民健康診断需要 がある

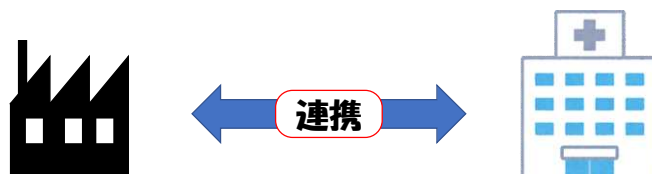
しかし！！

- ・ 企業の多くが地域医療機関以外の域外健診機関を利用
- ・ 住民健診受診率 3 0 %（全国平均 5 5 %）、かつ水戸の健診機関を利用

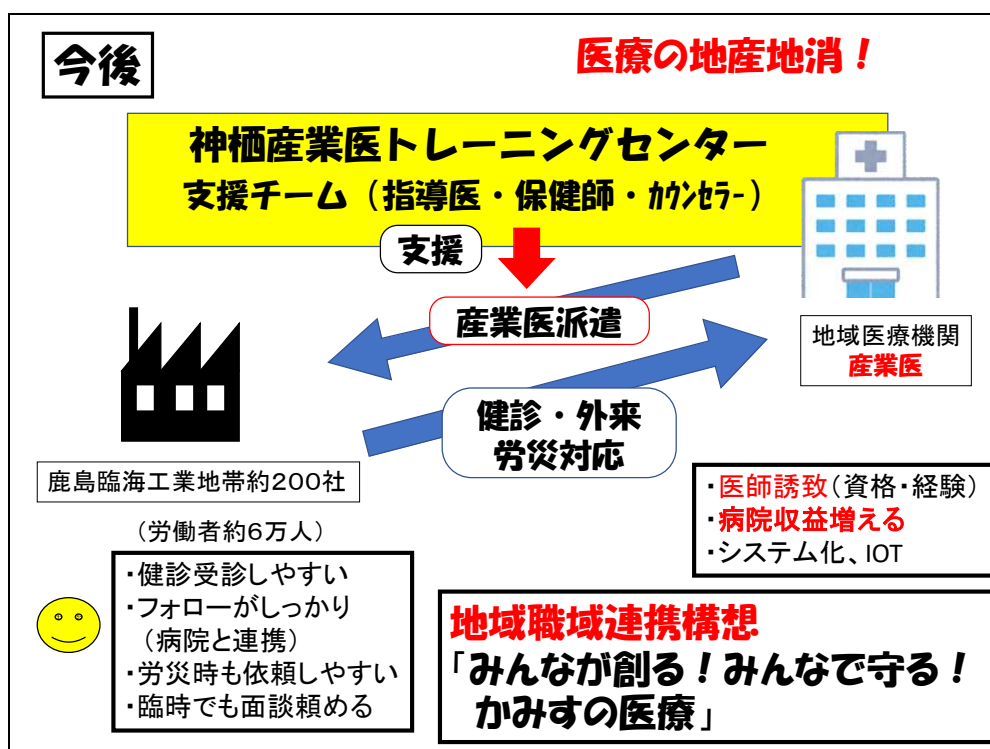
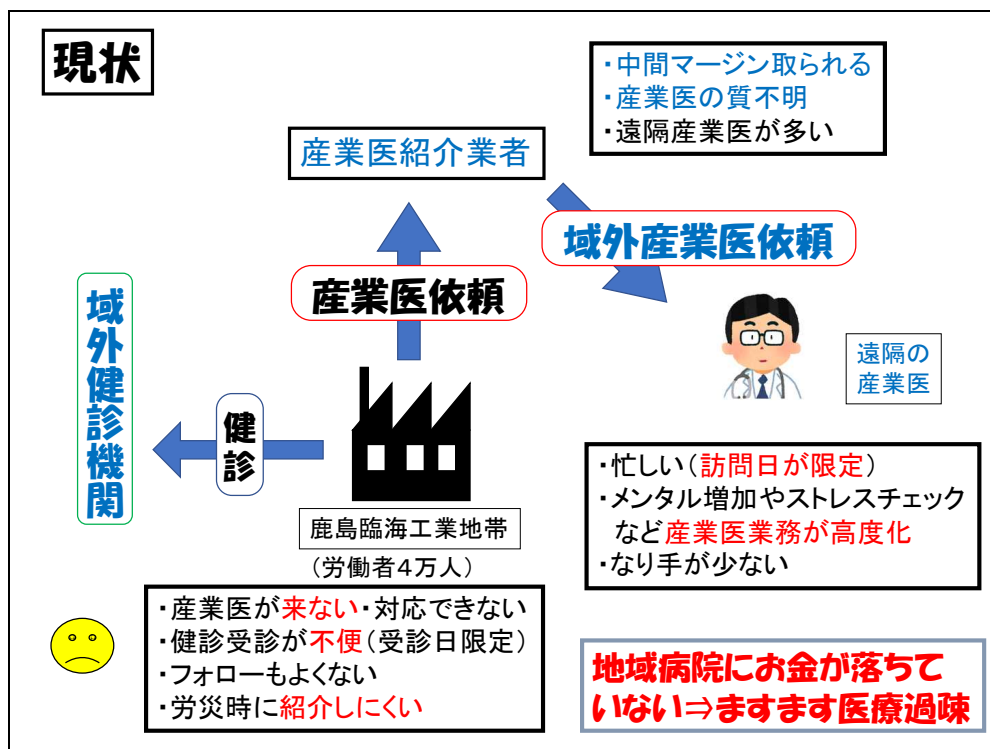
神栖市に必要な医療収入が外部に流出！！

地域職域連携構想とは

鹿島臨海工業地帯の企業と地域基幹病院が連携することで労働者の支援と医療の充実の双方を目指す。



**日本で有名な地域職域連携の成功モデルを目指す！
⇒病院がしっかりする！ 医者が集まる！！**



産業医がしっかりと活動を行い、医療機関と連携すると・・・

A企業における健診後事後措置の結果

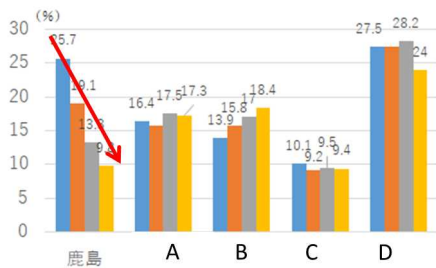


図2 血圧有所見率

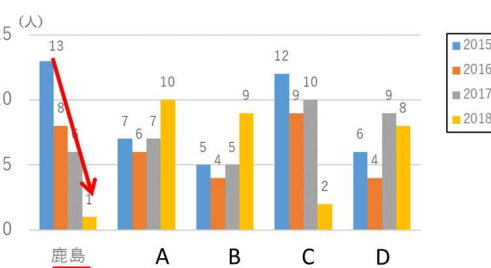
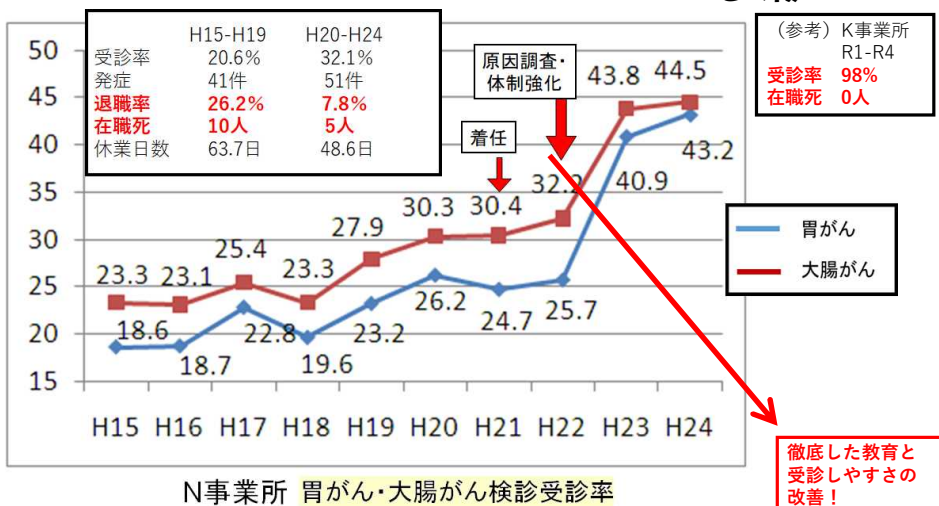


図3 糖尿病就業制限者

社員、住民がきちんと健診を受け、プロの産業医、保健師が生活指導・治療導入すれば有所見は下がる！！

その後



がん検診もきちんと受ければ死亡者は確実に減ります！
神栖市は無料にも関わらず受診率16%（全国42%）
⇒域外の健診機関ではなく、我々にお任せください！！

「予防医学」の大切さ

溺れている人を助けました

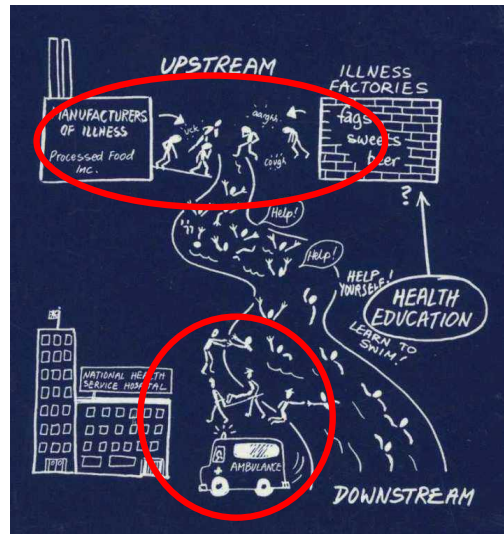
また、流れてきます

もう一度助けます

それでも流れてきます

気づいてください

上流に川に飛び込む人が
います



救急医療も大事だが、予防も大事！！

健診を受けて いつまでも元気、P・P・K（ピンピンコロリ）

医者がいない街から、医者がいない街へ！

神栖産業医トレーニングセンターの利点

産業医契約について

1) 急な要件による訪問日以外の対応も **無料**
(原則WEB面談、限度5回/月を目安)

2) 専用カウンセラーが **無料**

3) 衛生講和、教育講演が **無料**

健診も併せて契約いただくと

4) 健康管理システム利用が **無料**

5) ストレスチェックが **無料**

6) メールによる健康相談が **無料**

神栖市の企業の皆様へのさらなる支援充実を目指します！！

鹿行保健医療圏 地域・職域連携推進協議会

潮来保健所

令和 4 年度より開始

日 時 令和 5 年 2 月 9 日 (木)

出席者 20 名

座長 田中 完 統括指導医 神栖産業医トレーニングセンター

学識経験者 笹原 信一郎 (准教授)

: 筑波大学医学医療系 産業精神医学・宇宙医学

市関係 10 名 (委員 9 名, 代理 1 名)

医師会 1 名 (委員 1 名)

歯科医師会 1 名 (委員 1 名)

職域 2 名 (委員 2 名)

関係機関名 3 名 (委員 3 名)

「鹿行保健医療圏地域・職域における住民の健康維持・増進について」をテーマに、
情報交換を行い、特に職域では民間企業 2 社から次のような意見があった。

企業 A (神栖市所在)

- 健康経営施策会議にて、東部コンビナート加盟 22 社に内容を確認して、各社共通の取り組みを行っているが、今回は、当社を代表例として取り上げ、従業員の健康管理・維持向上、ストレスチェック実施計画の作成・実行等やクラブ活動推進、各種研修の企画実行(ハラスメント研修等)、その他、ホットライン窓口を設置している。
- 2022 年 4 月から受動喫煙防止策(全面禁煙)の導入したものの、協力会社や出入りの業者に対し、どう禁煙を勧めていくのか。また、昨年から全面禁煙に取り組んでいるが、喫煙率はそんなに落ちていない。他県と比較しても鹿嶋での喫煙率が非常に高い。また、労災について、地元の医療機関で十分な労災措置が受けられる環境整備が必要である。

企業 B (鹿嶋市所在)

- 社員の健康診断については、幹部が率先して取り組むことによって社員への働きかけを行っている。また、スポーツイベントやウォークラリーの開催、メンタルヘルス対策にも力を入れて社員への健康増進を図っている。また健康経営優良法人、いばらき健康経営推進事業所に認定された。
- 健診結果がよくない社員ほど健康イベントに参加しないので、これらの人々の意識を変えていく方法を模索している。また、喫煙について社員への禁煙や健康診断の勧奨を行っている。喫煙率が落ちたが、現在まで禁煙できない社員は中々辞められない可能性が高い。